

令和2年度 日限山地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域ケアプラザの担当する地区は、ひざり連合自治会地区と丸山台自治会地区で、人口は併せて約16,000人（ひざり地区約9,000人、丸山台地区約7,000人）、高齢化が進展し高齢化率は29.8%（ひざり地区32.2%、丸山台地区26.8%＜2020年3月末現在＞）となっています。今後、さらに高齢化が進展し、特に後期高齢者の割合が増加することが予想されます。  
今年度の大きな課題の一つは、第3期地域福祉保健計画の最終年度にあたるため、地域全体で、第3期計画をしっかりと振り返り、第4期計画を作成し、来年度からスタートできるように準備することです。この課題に向けて、当施設は事務局として地域と共に取り組んでまいります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ひざり地区地域福祉保健計画を推進する従来の5部会（健康づくり、障がい、高齢、子ども青少年、活性化）に加え、今年度から「交通委員会」が加わりました。地域ケアプラザはこの5部会1委員会の事務局として、地域主体で行う外出支援、居場所交流会など様々な事業を支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	定年退職後の男性が地域貢献活動に進出できるよう、新たな団体を加えて男性グループ交流会を開催します。さらに地域に出てきていない男性へのアプローチとして、各グループの活動紹介とメンバー募集のため、広報誌掲載や所内掲示などで周知します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	移動販売について、地域にニーズがあるかどうかを民生委員等にヒアリングするなどして調査し、地域ニーズがある場合は、地域が中心になっての移動販売実施に向けた検討を実施します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域特性や課題を踏まえて、新たに3つの自主事業を開始します。①未就園児と保護者の居場所を増やすための「にこにこひろば」、②みんなで歌う場所が欲しいというニーズから「歌ってキラキラ」、③将棋をやりたいが相手や場所がないというニーズから「将棋しましょ。」を開催します。さらに、区の事業である生活困窮等の課題を抱える世帯の子どもたちが学習できる「ひまわり元気塾」を当施設で実施します。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

本年度は、コロナ禍で4～5月が閉館、多数の事業・イベントが中止になり、運営に大きな影響がありました。その中で、ひざり地区の5部会と交通委員会は、6月から活動を再開し、感染予防対策を考慮し工夫しながらできる事業を実施しました。  
男性グループ交流会も、当初計画を変更し、参加者が自宅から参加できるズームを使った講座を、初めて開催し大変好評でした。これを先駆けとして、他の事業もズームにより開催できました。移動販売について、各自治会長や民生委員のご意見を伺い、希望のあった自治会の声を区役所等に繋げることができました。  
新たな3つの事業についてですが、歌と将棋に関する事業は来年度からの開催になりましたが、「にこにこ広場」については、8月から毎月開催し、毎回定員いっぱいの参加申込があり、利用者から感謝の声が上がっています。

区からのコメント

コロナ禍で各種事業が中止となる中、資料の送付やオンラインでの開催など臨機応変に代替手段を用いて取り組みました。特に介護予防や権利擁護など、オンライン（Zoom）を用いた講座を先進的に挑戦し、日頃は参加しない層が参加につながるなど、新たな可能性を開拓していただきました。また、ケアプラザに相談が入ると多岐にわたり関係機関との調整をしてくださっています。どこの機関にもつながらない方については、ケアプラザの方で定期的な訪問、電話連絡を通じて継続的な支援をお願いします。また、障害等の関係機関も合同での定例カンファレンスの開催に当たっては、もっと活発な意見交換ができるような内容になるとよいと思います。  
令和2年度はコロナ感染防止のため、諸室の貸出しや相談業務、各種事業の実施などに様々な制限が求められました。そうした中でも、工夫を凝らしながら、関係者との協働により地区別計画の策定を達成するなどの成果も上がっています。今後、ますますのニーズ増が見込まれるICTの利活用については区役所としても各種取組の提案や情報提供などに努めていきます。引き続き、地域の皆様の期待に応えられるよう、適切・健全な施設運営をお願いいたします。